

科目名	ネイル技術 I	Subject	Nail Techniques I
サブタイトル	ネイリストとしての基礎であるネイルケアとカラーリングに関する基本的な技能及び知識を学びます。		
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」
開講年次	開講時期	必修／選択	DP1 知識・技能 DP2 主体的行動力 DP3 課題解決能力 DP4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力 DP5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力 DP6 美しく生きる力を実践できる能力
1 年	後期	選択	
授業形態	単位	時間	
実習	1 単位	30 時間	
ゲストスピーカー招聘回	なし		◎
教員名	加藤 宏美	メールアドレス	hkato@・・・
教員の略歴	右記 URL より一覧を確認してください。【 https://www.yamano.ac.jp/study/teacher/ 】		
実践的教育	○ 美容師及びネイリストの経験をもとに実践に即した内容としています。		
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。		

科目の概要								
健康で美しい爪を維持するためのネイルケアやネイルアートに関する基本的な技術の理論と技能を学ぶ。 ネイルに関する検定の取得も視野に入れる。 ハンドトリートメント技術をととして他者への配慮を意識しながら実践する。 関連科目としてネイルアートやカラーリングにおいては、色彩に関する科目の他「メイクアップⅠ」の学習、ネイル溶剤等においては香粧品化学を学ぶことが望ましい。								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	-	-	あり			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
DP1	健康で美しい爪を維持するためのネイルケアやネイルアートに関する基本的な技術の理論と技能を学習し、他者に施術することができる。							
DP3	爪の形状やネイルケアの技法においてどのように施術したら健やかな爪を維持できるのかを考えながら施術することができる。							
DP4	相モデルでのネイルケアやハンドトリートメントの技術をととして他者への配慮を意識しながら施術することができる。							
教科書・教材								
教科書	発行：NPO法人日本ネイリスト協会（2020年）『JNAテクニカルシステムBASIC 第3版』							
参考文献	（株）インターメディカル（2011年）『ネイル・プロフェッショナル 第4版』							
各自準備教材	消毒用エタノール、コットン、キッチンペーパー（ロールタイプが望ましい）、グラス（W7×H8cm）、フェイスタオル2枚、ハンドタオル1枚、セロテープ、ゴミ袋（B5サイズ程度）＊その他「ネイリスト技能検定」受験者は別途、準備品あり。							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
40%	30%	10%	-	-	-	10%	10%	-
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
個別に実地指導を行います。								
履修上の条件・注意								
実技はプラクティスハンド又は自爪で行うため、ナチュラルネイルとし、カラーリング、人工爪などは全て除去してきてください。爪の長さは必要以上に伸ばす必要はありません。2mm程度で十分です。授業内で迷惑行為にあたる言動は慎むこと。揮発性の高い液体を使用することがあるためマスクの着用を推奨します。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								
JNEC ネイリスト技能検定3級								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間(分)
第1回	オリエンテーション 「ネイルの歴史」 「ネイルの技術体系」 「爪の構造」	爪に関する歴史とネイル技術の種類を説明することができる。	復習として「爪の構造」の各名称と特徴を理解する。	60分以上
第2回	ハンドトリートメント 「ネイルのための生理解剖」 「化粧品学」	ハンドトリートメントの施術をととして他者へ配慮しながらコミュニケーションをとることができる。	ハンドトリートメントの反復練習を行う。 練習施術時間目標：1名あたり20分	60分以上
第3回	ポリッシュアート：ウォーターマーブル	ネイルカラーの特性を理解し、自分でマーブル模様を活かしたデザインを創作することができる	「爪の構造」を見直し、爪の形状の資料を読み予習する。	60分以上
第4回	爪のファイリングと艶出し 「各ファイルの持ち方・動かし方」 「指の支え方」	爪の形状を理解し、手順どおりに削ることができる。ファイルを正しく動作することができる	爪のファイリングと艶出しの反復練習を行う。 爪の形がシンメトリーになるように考えながら施術する。 練習施術時間目標：1名あたり10～15分	60分以上
第5回	テーブルセッティング 「道具の名称と役割」 「ネイリストとしての消毒法」	道具、器具の役割に沿って道具を配置することができる。ネイリストとしての消毒を行うことができる。	復習として、扱う器具の役割と特徴の復習を行う。 消毒から爪のファイリングまで反復練習を行う。	60分以上
第6回	ファイリングの復習 「爪の病気とトラブル」	ネイルケアの目的と施術の手順を説明することができる。	復習として消毒からファイリングまでの技術を実践する。	60分以上
第7回	クリーンナップ ニッパーの持ち方、指の支え方	ニッパーを正しく持つことができる。道具や器具を衛生的に扱うことができる。	理論「消毒法」「爪の色調異常、爪の病気」を復習する。	60分以上
第8回	ネイルケア① テーブルセッティング（10分） ネイルケア（30分）	時間内に作業を終えることができる。	10指のバランスを考えてネイルケア技術の練習を行う。	60分以上
第9回	ネイルケア② 消毒～クリーンナップまでの実技チェック	道具、器具を衛生的に扱うことができる。 爪の長さや形状を見極めて時間内に作業を終えることができる。	時間に確実に収まるように反復練習を行う	60分以上
第10回	カラーリング 「色彩理論」	ネイルカラーをムラなく塗布することができる。	カラーリングの反復練習を行う。	60分以上
第11回	カラーリング ネイルアート	カラーリングから修正まで行うことができる。 アクリル絵の具を使用してネイルチップにアートを描くことができる。	予習としてテーマに沿ったデザインを考えてくる。 ＊ネイルアートのベースカラーは「マットな赤」とする。	60分以上
第12回	消毒から開始し、ネイルケアからカラーリングまで60分で計測する。 アートはネイルチップに施す。	JNEC3級の技術内容に沿って、正しい動作で技術を行うことができる。	・消毒からカラーリングまでの技術を時間を意識しながら実践する。 ＊ネイルチップのアート作品の提出	60～90分
第13回	消毒から開始し、ネイルケアからカラーリングまで60分で計測する。 アートはネイルチップに施す。	時間内に作業を終えることができる。	消毒からカラーリングまでの技術を時間内に収められるように、各自で練習を行う。	60～90分
第14回	チップラップ ＊プラクティスハンド使用	人工爪の一種であるチップラップの道具を正しく扱うことができる。	材料の役割、扱い方を覚える。	60分以上
第15回	まとめ消毒～カラーリングまで	他者の気持ちに配慮して、10指のバランスを考えながら、ネイルケアからカラーリングまで実践することができる。	様々な爪の状態に対応できるように「爪の色調異常と爪の病気」について再復習する。	60分以上